

現役の団員に聞きました!



先輩の意志を受け継ぎ、このまちを守ります

大学院生 / 樋口礼奈

私は大学1年生のときに、「災害時に人の役に立ちたい」「地元のことをもっと知りたい」と考え、消防団に入団しました。最初は女性でも活動していけるか不安でしたが、和気あいあいとした雰囲気のおかげで、先輩方が活動内容を丁寧に教えてくれたので、すぐになじむことができました。

先輩方は「地元のために活動したい」「生まれ育ったまちを守りたい」という思いで活動しています。私もその思いに触れ、「このまちを守りたい」という意志が芽生えました。

消防団には女性が活躍できる場もたくさんあります。皆さんもぜひ一緒に活動しませんか。



消防団の活動を紹介!

平常時



訓練

消火活動に必要な知識や技術を学び、器具を操作する訓練を行います。



防火・防災指導

地域の防災訓練や学校などで、防火・防災指導や応急救護指導を行います。



広報活動

地域の行事に参加し、火災予防などを呼びかけます。

災害時



火災発生時は、消火活動や救助活動のほか、鎮火後の警戒活動を行います。また、地震発生時は、安否確認や救助活動などを行います。

ご存じですか? 消防団のルーツ

消防団の起源は江戸時代にさかのぼります。八代将軍徳川吉宗が江戸南町奉行の大岡越前守に命じ、消防団の前身であるといわれる町火消が創設されました。当時は、各町火消に「いろは」などの名前があり、互いの名誉をかけ、競い合いながら、我がまちの消防活動を担っていたそうです。

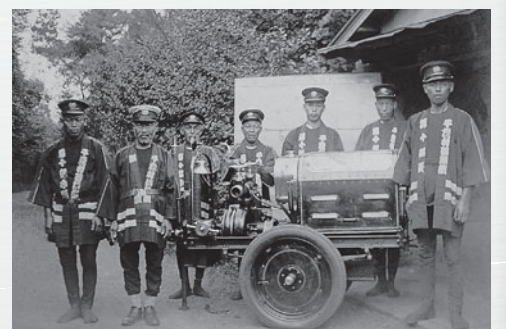
その後、明治5年に「消防組」、昭和14年に「警防団」と名称を変え、現在は、消防組織法に基づく「消防団」として地域で活躍しています。



江戸時代の町火消



昭和14年ごろの警防団



昭和22年ごろの消防団

出典:東京消防庁

消防団はやりがいのある活動です!

石神井消防団長 / 杉森健二



消防団の一番のやりがいは、「人を救えること」です。応急手当や災害への対応を学び、日々訓練することで、職業や性別にかかわらず誰でも人を救うことができます。

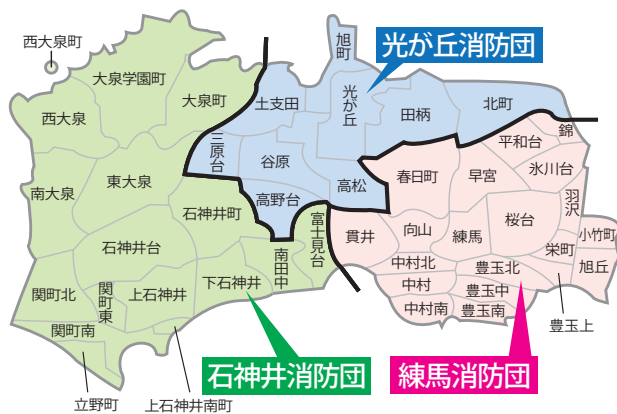
また、同じ目標を共有する消防団だからこそ、いい仲間ができます。時には厳しく、時には笑い、時には泣き合うような、ほかには無い人間関係が築けます。

消防団の活動は消火だけでなく、多岐にわたっており、女性や学生、仕事が忙しい方にも、自分に合った活動ができるステージが用意されています。

あなたの力を貸してください。入団をお待ちしています。

入団やお問い合わせはお近くの消防署へ

区担当:防災調整係



仲間を募集中です!
お気軽にどうぞ!!



- 練馬消防団...練馬消防署 ☎3994-0119 [Eメール] nerima2@tfd.metro.tokyo.jp
- 光が丘消防団...光が丘消防署 ☎5997-0119 [Eメール] hikarigaoka2@tfd.metro.tokyo.jp
- 石神井消防団...石神井消防署 ☎3995-0119 [Eメール] syakujii2@tfd.metro.tokyo.jp